

会 議 録

1 会議名

令和7年度第2回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」について（公開）

【自主的な審議】

- ・カルチャーセンターのさらなる利活用について（公開）

3 開催日時

令和7年7月1日（火）午後6時30分から午後7時10分

4 開催場所

上越市カルチャーセンター ミーティングルーム

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員： 熊木会長、市川副会長、荒井委員、内山委員、栗間委員、高橋（邦）委員、高橋（秀）委員、高山委員、竹内委員、名取委員、峯村委員、三宅委員、柳澤委員、渡邊委員（欠席者2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター 内藤所長、勝島副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【熊木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：竹内委員、峯村委員に依頼

議題【報告事項】農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」について、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

・資料No.1「農業経営基盤強化の促進に関する計画『地域計画』について」に基づき説明

【熊木会長】

今ほどの説明に対し、質問等はあるか。

【高橋（邦）委員】

地域懇談会の参加者は、地域の中心的な農業者、農家組合長、JAえちご上越、土地改良区、新潟県、農業委員会とあるが、現状、有田区の南部では、町内会が非常に大きな役割を果たしている。多面的機能支払交付金の事業なども町内会が中心になってやっているのに、なぜ農業者だけで計画策定を行うのか。地域住民も巻き込んで今後の農業の在り方を考えてほしい。

農地利用については、土地は持っているが、自分は耕作をしなくなり、農家組合にも所属しないという方が多く、そういった方の協力がないと、農地利用については検討できないのに、そういった方は地域懇談会の対象者には入っていない。特に、ほ場整備等が進んでどんどん集積化すると、余ってくる土地がある。その余っている土地はどうなるのかということがあまり議論されていない。それらが耕作放棄地であったり、いわゆる遊休地になったりしている。その扱いに困っているというのが、どの町内でもあるはずなのに、なぜそのことが話題にならないのか。そのような意見があったということを事務局から担当課に伝えてほしい。

【熊木会長】

ほかに意見を求めるがなし。

報告事項ということだが、本来は担当課が来て質疑というのが普通である。併せて担当課に伝えてほしい。

次に、【自主的な審議】カルチャーセンターのさらなる利活用について、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

前回の協議会で、「カルチャーセンターのさらなる利活用について」を自主的審議事項にしたところである。その基礎的なデータとして資料を用意した。

・資料No.2「カルチャーセンター及び周辺施設の利用状況等について」、

資料No.3「カルチャーセンター周辺所管課図」に基づき説明

本日は、次回以降の自主的審議事項の進め方について、ご協議いただければと思っています。

【熊木会長】

今ほど事務局から説明があったように、次回以降の自主的審議の進め方について協議してほしいということである。前回協議したのが、「資源物常時回収ステーションの移設について」だが、その後、生活環境課から事務局へ何か連絡はあったか。

【石崎係長】

今のところ特にはない。前回の協議会で資源物常時回収ステーションの移設について検討するとのことだったので、すぐに結論が出るものではないと思うが、動きがあれば皆さんに報告する。

【熊木会長】

次回以降の自主的審議事項の進め方について、どのような視点で意見を述べてもらえばよいか、事務局からもう少し詳しく願います。

【石崎係長】

自主的審議事項を検討した際に、カルチャーセンターがいろいろな年齢層、子どもも含めた有田区の住民が、町内を超えて交流できる場として利活用されると地域活性化につながるのではないかという趣旨の意見が出され、そこから「カルチャーセンターのさらなる利活用について」を審議することになったと思う。

この地域が活性化するカルチャーセンターのさらなる利活用とはどのようなものか、皆さんそれぞれのお考えがあると思うので、まずはどのような姿を目指すのかということをお聞きして、今後の進め方を検討していきたい。

【熊木会長】

皆さんがカルチャーセンターのさらなる利活用についてどのように思っているか、1人ずつ述べていただき、次回以降につなげたいとのことである。

具体的に何を言ったらいいかということだが、ご存知のように地域協議会というのは実行する団体ではないので、検討した案を関係する団体に提案をして、活動を促すといった限界があるということを皆さんご承知おきの上、ご意見をいただきたい。

【荒井委員】

カルチャーセンターの利活用は、有田区の暮らしの拠点として、小さい子もお年寄りも、みんなが集まってつながれる場所で、いろいろな方が集まって、いろいろなことに参加するというイメージである。ただそのためには環境整備がある程度必要ではないかということで、前回意見を出させていただいたような記憶がある。

【内山委員】

カルチャーセンターというと、私は若い頃、野球をやったというイメージしか今のところない。いろいろな施設があるので、もっと皆さんに広く知ってもらえれば、いろいろな活用方法もあると思う。

【栗間委員】

カルチャーセンターは有田区の端の方にあるので、例えば私が住んでいるところからだとは少し遠い位置にあると感じる。

【高橋（邦）委員】

カルチャーセンターを中心的施設として活用するには、催し物をやったときに使い勝手がいいようにする必要がある。いろいろな施設があるが、全部所管課が違うために、一体感のようなものを作り出すときに大変なのではないかという気がする。

資料を見てわかるように、カルチャーセンターは社会教育課、野球場等はスポーツ推進課、ゲートボール場は高齢者支援課、敷地全体は都市整備課、市道は道路課の所管になる。敷地全体を一体として利用したい人は、どこに頼むのかという話になる。一括して相談できる窓口となるところを作ってほしいというのが利用者の要望としてあるだろうと思う。

「これはスポーツ推進課です。うちじゃありません。」と言われて、「じゃ、どこへ行けばいいんですか。」という、役所特有のスタイルにならないようにしないと、上手く活用できない気がする。関係する所管課の窓口となるところ、例えば、ここのカルチャーセンターが担うというような形が取れると、もっと各種団体が利活用しやすいと思う。行政的なルールがあるだろうと思うが、活用する団体が相談先を一生懸命探し歩くようなことでは、上手く活用できないと思う。

【高橋（秀）委員】

幼稚園児がサッカー場が空いていたので少し入ったら、「オマエら何やってるんだー。」と大の大人が怒鳴りつける。センスがない。それと、グラウンド等は、いつどこが空いているかわからない。ほんの少し通っただけで文句を言うようなところは、活用したく

なくなると思う。

「ふぁみりり」という団体が、去年までは直江津等でイベントを開催していたが、カルチャーセンターが使い勝手がいいということで、今年はここで予定をしてくれている。しかし、今のような問題がある。お天気がいいときに外にキッチンカーが来ていれば、子どもはうろうろしたい、駆けずり回りたい。多目的運動広場の稼働率が20%しかない、空いている。それを怒鳴りつける。これはないと思う。

先ほど高橋（邦）委員が言われたとおり、カルチャーセンターの窓口では、この建物以外の施設の予約状況などは分からない。やはり、カルチャーセンターが窓口でなければ駄目だろうと思う。野球場等で怪我等をしたときにも、カルチャーセンターに皆さん来る。どの団体が使っているのかわからないというのは問題外である。

カルチャーセンターには体育室があるが、7月から9月までは、熱中症等の恐れがあって使えない。今、上越市では、体育館はほとんどクーラーも入っていないし何もない。扇風機もない。扇風機はある団体から寄付してもらい使っているが、昨年、カルチャーセンターの体育室を使って、熱中症気味の人が3人、今年は既に1人出ている。いろいろな部門に話を聞くと、小学校は各教室にエアコンを整備し終わったら、次は体育館に整備するらしい。そうすると最後にこういうところが残ってしまう。避難所でもありながら、エアコンもない。それはここだけではなくて、あちらこちらのところが、そのように取り残される。「使い勝手いいですよ、どうぞ。」と言いながら使えないということが出てくるので、そのような仕掛けをやっていかないと良くないと思う。

【高山委員】

若いころは野球場などを利用させてもらったが、最近はカルチャーセンターをあまり利用していない。

資料を見ると、多目的運動広場は2割程度の利用率である。芝のメンテナンスには大変お金がかかっていると思われるので、1人でも多くの方から利用してもらいたいはずだが、この数字ということである。

私も孫がカルチャーセンターの近くにいて、運動広場辺りで遊んでいると、「あっち行け。」みたいに言われるようである。使われていないときなのになのかと思う。

有田区の中核的施設ということであれば、この施設を利用したイベント等で、普段ここを利用されない方も寄って来る、顔出しするといったことを通じて、認知度とこの施設の利用向上に努めてもらいたいと思う。

私は会議に出てきて、これだけ所管課が違うのかと驚いた。予約や利用については、それぞれ所管課があるが、実際に利用される方は、怪我等のときには、人が常駐しているこのカルチャーセンターに駆け込んでくると思うので、ここに対応ができるようなスタッフや、ここに行けば対応をしてもらえるとというようなことがわかる手立ても必要ではないかと思う。大きな課題とは別に、毎日利用者はいるので、動けるものは動いてもらいたい。

【竹内委員】

私はもう70歳になるが、この会議に出るまでこれだけの施設がここにあることを知らなかった。奥まっついて、普段通ることもないし、小猿屋に小学校があったときは、いろいろな会議等を小学校でやっていたので全然知らない。だから、ここをもっと有田区民に知らしめるような活動を積極的にやっていかないと、利用率も上がらないし、宝の持ち腐れというような状況になってしまうのではないかと思うので、これからそういう部分で努力していかなければいけないと思う。

今ほど、いろいろと運営上の課題を指摘されたと思うが、まず区民の皆さんに知ってもらうことが大事ではないかと思う。

【名取委員】

活性化であれば、イベント等をやればよいのではないかと思う。例えば、野球場は野球だけではなく、フェスの会場にするとか、スポーツ広場も、サッカーしかやらないのではなく、ダンス大会や冬であれば雪合戦大会など、いろいろな取り組みをしてもらえればと思う。4月は桜もあってきれいなので、そういうことで呼び込んではどうかと思う。

【峯村委員】

子どもたちからお年寄りまで使ってもらうために、私もまず、所管課をまとめる窓口が欲しいと思う。また、多目的運動広場の予約に関して、春から秋は市から管理の委託を受けているスポーツ協会が管理棟にいたので、空き状況等を聞きながら予約をすることができるが、翌年度の予約になるとスポーツ協会では対応できず、直接スポーツ推進課に相談することになる。それも抽選であり、とても予約が取りづらい状況である。例えば、空いているときは、子どもたちが勝手に入って凧揚げをしていい、野球をしていい、そのように使ってもらえるような、もう少し利用率が上がるような場所になってほしいと思う。

先ほどの体育室の冷暖房は、急ぎで欲しいと思っている。熱中症気味になる人も出ているし、休日になると、高校生や大学生、地域の子たちも集まって、自分たちのお小遣いでバスケットやバレーをしているが、カンカン照りの日は絶対に使えない温度になっているので、これを急ぎで入れてほしいと思う。

最後にもう1点。カルチャーセンターの最寄りのバス停というと、安江の1丁目と2丁目にあるバス停になるかと思うが、遠すぎるので、できればカルチャーセンターの前に停留所があると、子どももお年寄りも来られるのではないかと思います。

【三宅委員】

住民としての意見になってしまうが、私には中学生と小学生の子どもがおり、友達とカルチャーセンターへ勉強しに行く姿を見て、中学生も勉強しやすい環境があれば思ったり、体育室は予約しないと子どもが使えないので、この暑い時期は外でみんな茹でダコのように遊んでいる。カルチャーセンターの体育室が2時間だけでもいいので、夕方小学校から帰ってきた子どもたちが遊べるようになればいつも思っている。

今年、既に1回子ども会で親子レクをやらせてもらっているが、子どもが1人具合が悪くなって帰るということがあった。冷房を入れていただければ、子どもたちが体を動かして、思い切り遊べる場所が夏でも確保できると思う。

【柳澤委員】

上越にはいろいろな施設があるが、その中でカルチャーセンターや野球場は、利用率がほかの施設よりも高いのではないかと思います。いろいろなアクセス、ショッピングセンターが近くにある立地条件などを考えると、ここが一番使いやすいということは聞いている。そのためにも、先ほど出た体育室へのエアコン設置をお願いして、もっと使いやすいようにしていただきたいと思う。

【渡邊委員】

先ほどからお話は何回も出ているように、所管課をまとめる窓口は欲しいと思う。ふぁみりりでフェスを開催させていただいたときに携わっていたが、カルチャーセンターの建物から向かいの広場に、子どもたちがキッチンカーから遊びに行くだろうから、市道の横断をどうしたらいいか大変苦労した覚えがある。

いくつか上げさせていただくと、冷暖房の話が先ほどから出ているが、イベントを主催するときに、どこの体育館にも冷暖房がない。私たちNPOでイベントを時期にいつも悩んでいる。カルチャーセンターも桜が綺麗に咲くが、春の企画は予算が確保できる

か不透明なのでできない。夏は暑いためイベントは秋になってしまう。秋はいい季節なので、幼稚園、小学校の行事がいっぱい、いつの時期だったらいいか、見極めながら日程を調整し、更に、稼働している体育館を前日準備も含め予約しておくということに大変苦労していて、この会場を使いたいが使えないというような状態になっていることが多い。ここが冷暖房を完備していれば、利用率はもっと上がるだろうし、もっと使いやすく、みんなが使いたくなるような施設になるだろうと思う。

私は、子育てサロンでベビーマッサージをしており、和室を月に1回使っているが、和室の畳が大変古く、お母さんたちが正座してベビーマッサージをした後に立つと、洋服に畳のカスがすごく付いている。電気も切れていて、いつ修理できるかわからないと聞いている。ここが冷暖房がしっかりしていて、畳も赤ちゃんと一緒に来ても安心できる場所であるなどを売り出すことができれば、すごく良くなるのではないかなと思う。

【栗間委員】

私は4月から有田区の食生活改善推進員の理事に就任した。カルチャーセンターの調理室に2台ある冷蔵庫のうち1台は電気が入らず、長年「壊れています」という張り紙が貼られたままで利用できない。是非、電気が入る冷蔵庫を準備していただきたい。

【熊木会長】

ひととおりの意見をいただいた。修繕に関するものは事務局に話しても改善されないの、違うルートでやっていただく。どの修繕が何番目というような順位は付けられないが、完璧に使えるような状態になって初めて提供できるということが前提なので、そこはしっかり市に話をしたいと思っている。

【高橋（秀）委員】

設備のこういうところをもっとこうしたほうが活用度が上がるというように玉出しをして、優先順位を決めて、自分たちでできることと、できないことがあると思うが、テーマアップして言わないと、トイレが壊れても1年も直らないなど、いつまでも直らないということもある。

地域協議会でやることではないかもしれないが、利用者の方から意見を聞きながら、できることとできないことはあるが、活用度を上げる検討を行う。

上越市の中では、この施設はとても条件が良い。ほかは、グラウンドもないし、体育館もないし、交通の便もよくないということで、八千浦地区の人や北城高校のブラスバンドが来て演奏していたり、太陽誘電で働いている外国人の方たちがバスケットに来た

り、カルチャーセンターの建屋は相当利用率が高い。だから、何が困っているか選び出さないと、ただ話をしただけで終わっていくと何も良くならない。仕掛けていくことが必要だと思う。

【熊本会長】

今出された意見を事務局でまとめて、私と協議し、次回以降何をメインとして取り組むかということをやっていきたいと思う。

事務局それでよいか。

(事務局了承)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。